群馬県のIR資料

令和8年10月 群馬県総務部財政課









尾瀬国立公園

名峰に囲まれた花咲き乱れる日本最大の山岳湿地として全国に名を知られる国立公園です

（写真提供：尾瀬保護財団）



アニメ『ぐんまちゃん』
©群馬県 ぐんまちゃん

目次



Section1. 県の概要、経済の状況

- 交通網の充実によるアクセスの優位性 …… 5
- 恵まれた自然条件 …… 6
- 群馬県の人口と強い経済 …… 7
- 群馬県の産業構造 …… 8
- 群馬県の魅力あふれる観光資源 …… 9

Section2. 2040年の群馬県の目指す姿を描いた「新・群馬県総合計画」

- 新・群馬県総合計画 …… 11
- 足下の取り組みの事例 …… 12

Section3. 群馬県の環境問題の解決に向けた取り組み

- 環境問題の解決へ向けた取組方針 …… 14
- 群馬県グリーンボンドの発行 …… 15
- これまでの充当事業（地域別） …… 16
- 資金充当状況・環境改善効果に係るレポーティング …… 17

Section4. 財政状況と行政改革の取り組み

- 令和8年度群馬県当初予算 …… 19
- 令和8年度一般会計当初予算（歳入） …… 20
- 令和8年度一般会計当初予算（歳出・性質別） …… 21
- 普通会計の決算収支 …… 22
- 公債費及び投資的経費の推移 …… 23
- 県債新規発行額と残高の推移 …… 24
- 群馬県の積立基金及び減債基金への積立て …… 25
- 公営企業会計の令和7年度決算状況 …… 26

Section5. 主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく財政指標の推移 …… 28
- 将来負担比率と実質公債費比率（令和7年度決算） …… 29
- 財政指標の推移 …… 30
- プライマリーバランスの推移（決算ベース） …… 31

Section6. 市場公募債発行計画

- 令和8年度市場公募債発行計画 …… 33

サマリー



群馬県の概要

- 恵まれた立地環境、発達した交通網とアクセスの便の良さ、自然条件から、移住希望は2年連続で全国1位
- 多くの企業が立地や投資を進めるほか、自然条件を生かした多彩な農業が展開
- さらに温泉・自然・歴史遺産といった魅力あふれる観光資源を有する



「新・群馬県総合計画」

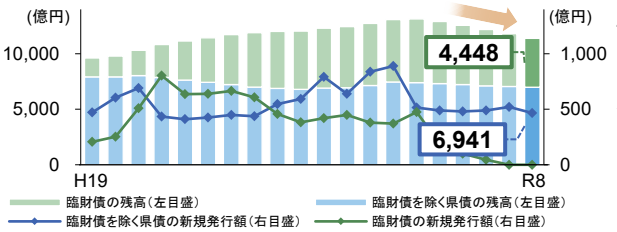
2040年の群馬県の目指す姿を描く

1. 日本最先端クラスのデジタル県へ
2. 県民の命に関わる安全確保
3. 持続可能な自立分散型の地域社会確立

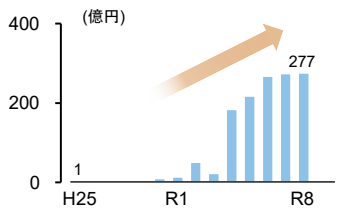
財政状況、県債の発行及び償還財源等

- 計画的な県債発行により、県債残高は令和4年度から5年連続で減少
- 大規模災害等の際にも十分な対応ができるよう、一定の基金残高を確保
- 財政健全度は市場公募発行団体の中でも上位に位置

県債新規発行額と残高の推移（普通会計ベース）

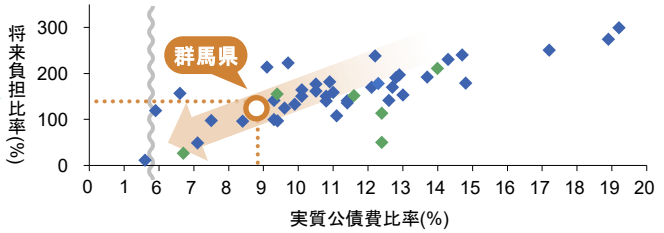


積立基金残高（当初予算）の推移



将来負担比率と実質公債費比率（令和7年度決算）

現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け

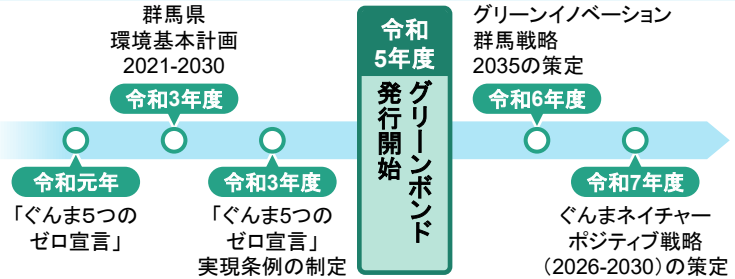


環境問題の解決に向けた取り組み

- 「ぐんま5つのゼロ宣言実現条例」に基づき、環境と経済の好循環の創出に向けた取組を進めるため、令和5年度以降、毎年「グリーンボンド」を発行

ぐんま5つのゼロ宣言

1	自然災害による死者	「ゼロ」
2	温室効果ガス排出量	「ゼロ」
3	災害時の停電	「ゼロ」
4	プラスチックごみ	「ゼロ」
5	食品ロス	「ゼロ」



令和８年度市場公募債発行計画

（億円）

区分	6月	7月・8月	11月	合計
5年債	180		50程度	230程度
10年債	180		90程度	270程度
20年債	100			100
グリーンボンド（5年債・10年債）		50（5年） 110（10年）		160
合計	460	160	140程度	760程度

※全て満期一括償還債を予定



Section 1.

県の概要、経済の状況

- 人口規模は約200万人で中堅クラス。発達した交通網、恵まれた自然条件、長い歴史で築かれた基盤技術などで、工場立地件数は全国トップクラス
- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスの便が良い
- 多彩で多様な農業が展開され、「首都圏の台所」と呼ばれる
- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる観光資源が人々を惹きつける



【2025年移住希望地ランキング】

公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構が発表した「2025年移住希望地ランキング」において、群馬県が2年連続で全国1位となりました。

交通網の充実によるアクセスの優位性
（東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点）

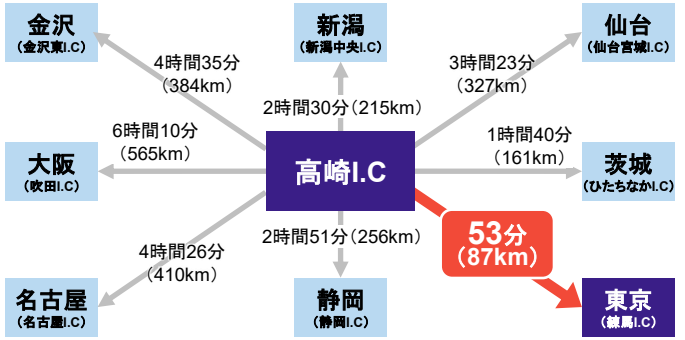


- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスが良いのが群馬県の魅力
- 新幹線・高速道路利用いずれの場合も、東京まで約50分で移動可能



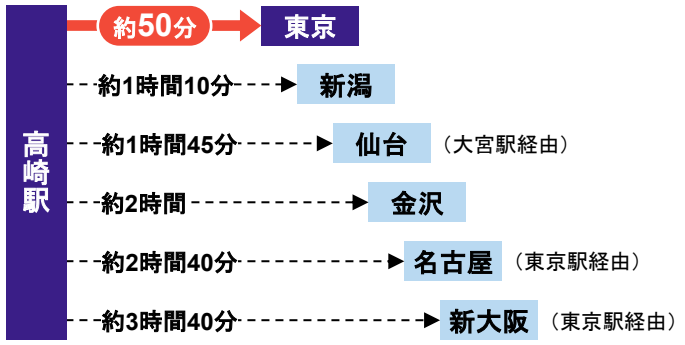
- 関越、上信越、北関東、東北自動車道により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通網が整備されています。

高速道路利用



- 上越新幹線と北陸新幹線が走っており、鉄道交通の結節点である高崎駅を中心に各方面へのアクセスが便利です。

新幹線利用



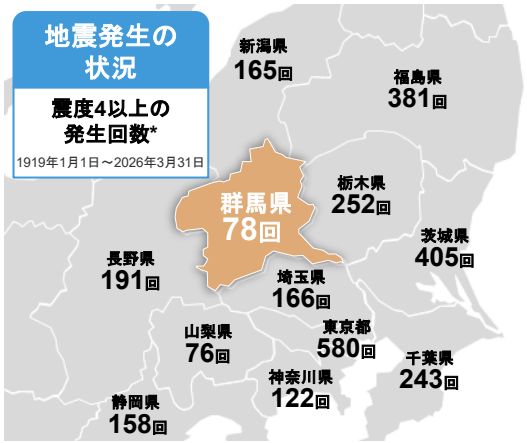
恵まれた自然条件
（自然災害のリスクが低く、晴れの日が多い安定した気候）



- 関東一、地震が少ない
- 日照時間、年間快晴日数が全国で上位に位置するなど恵まれた気象条件を有している

地震災害のリスク

- 群馬県は、統計上、地震が比較的少なく、工場や物流拠点施設をはじめとする様々な産業施設の立地に有利な条件を備えています。



*：気象庁「震度データベース」を基に作成

自然災害等による罹災世帯数（H27~R6）

- 群馬県の特徴として、自然災害が少ないことが挙げられます。
- 左記の地震発生回数の低さの他、水害と土砂災害による被害も全国で最も低いレベルにあります。

被害（少）

被害（多）

順位	都道府県	罹災世帯数
1	群馬県	459
2	東京都	2,298
3	神奈川県	3,028
4	埼玉県	5,803
5	栃木県	7,310
6	千葉県	8,658
7	茨城県	8,718

出典：消防白書（総務省消防庁）H27～R6

恵まれた日照時間

- 群馬県は、年間の日照時間の長さが全国第2位と上位に位置しています。降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有しています。

日照時間（年間）全国2位
*2024年

1位 高知県　3位 埼玉県
4位 静岡県　5位 愛知県



出典：総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2026」



群馬県の人口と強い経済



- 移住希望地ランキングでは２年連続で全国１位！
- 工場立地件数は常に全国トップクラスであり、強い経済が特徴

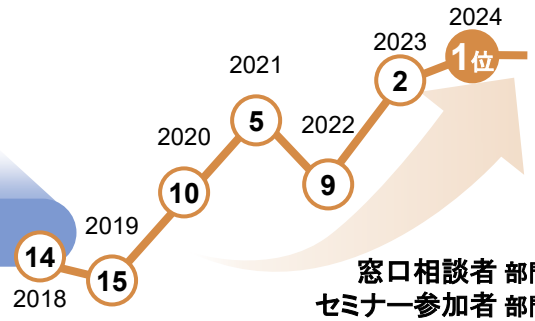
恵まれた立地環境、発達した交通網と利便性の高さなどから、多くの移住希望者や企業に選ばれています。

移住希望地ランキング

群馬県

全国 第1位

（2025年）



2025年 全国1位

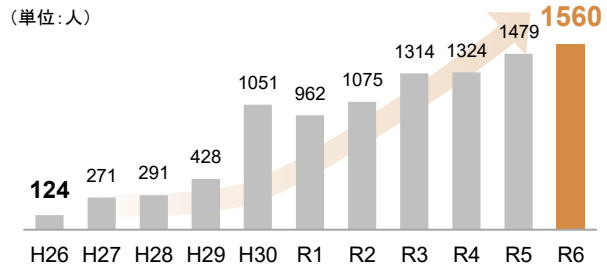
全国初

窓口相談者 部門
セミナー参加者 部門

両部門で2年連続 全国1位

県内移住者数

10年間で移住者数が10倍以上増加



※群馬県集計

人口

189万人

全国 第18位

（令和6年10月1日）

生産年齢人口比率

58.1%

全国 第15位

（令和6年10月1日）

工場立地件数※

28件

全国 第8位

（令和7年）

1人当たり県民所得

過去最高額 最高順位

3,467千円

全国 第5位

（令和4年度）

製造品出荷額等

10兆3,518億円

全国 第12位

（令和6年）

農業産出額

2,868億円

全国 第15位

（令和6年）

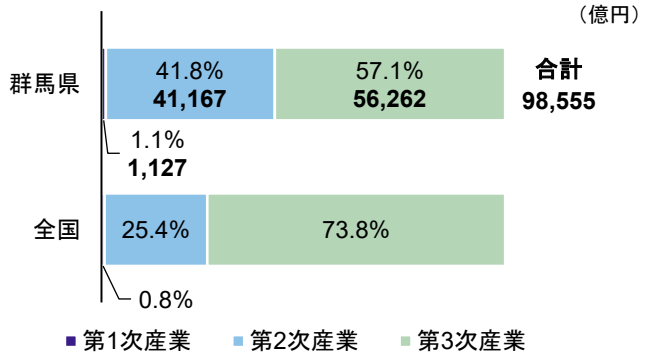
※製造業、ガス業、熱供給業及び電気業(水力・地熱・太陽光発電所は除く)

群馬県の産業構造



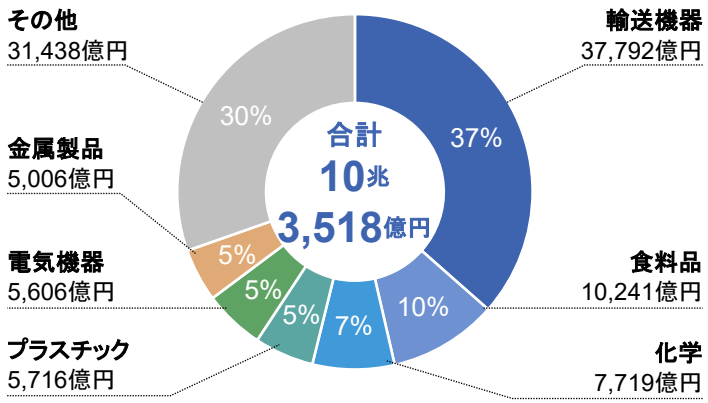
- 発達した交通網、安定した気候、自然災害の少なさ、長い歴史で築かれた基盤技術などで、ものづくり産業が発展
- 豊富な水資源や首都圏に位置するなど有利な立地条件を活かし、「首都圏の台所」として、多彩で多様な農業が展開

産業別名目県内(国内)総生産



出典: 群馬県県民経済計算(R5年度)
及び内閣府国民経済計算(R5暦年)

製造品出荷額等



出典: 2025年経済構造実態調査二次集計結果(製造業事業所調査)

主な県内立地企業

業種	企業名	
輸送機器	SUBARU 日野自動車	日本発条 ミツバ
食料品	山崎製パン 高崎森永 ブルドックソース	高梨乳業 ダノンジャパン 日本ケロッグ
化学	信越化学工業 関東電化工業	協和キリン
業務用機器	キヤノン電子	サンデン
飲料・飼料	明治 サントリー	ポッカサッポロフード&ビバレッジ
半導体	アドバンテスト	ルネサスエレクトロニクス

農業生産量全国順位(令和6年)

順位	品目	生産量	占有率
1位	こんにゃくいも	49,700t	97%
	キャベツ	271,700t	21%
	ほうれんそう	22,600t	12%
	繭	15t	38%
2位	ふき	775t	12%
	えだまめ	6,340t	11%
	きゅうり	50,800t	10%
	うめ	4,150t	8%
3位	なす	28,100t	10%
	レタス	58,700t	11%
	生しいたけ	3,984t	6%
	はくさい	25,900t	3%
	ちんげんさい	2,400t	6%
4位	豚	610,800t	7%
	スイートコーン	13,300	6%
	生乳	204,542t	3%

出典: 令和6年農林水産統計

製造品出荷額等全国1位の製品(令和6年)

製品		出荷額
その他の清涼飲料	アサヒ飲料、サントリープロダクツ など	1,067億円
豆腐、しみ豆腐、油揚げ類	相模屋食料、マック食品 など	333億円
ボールペン	パイロットコーポレーション、三菱鉛筆 など	168億円

出典: 2025年経済構造実態調査二次集計結果(製造業事業所調査)

近年の群馬県への主な投資動向(R8年4月現在)

年	事業者名	概要
令和4年	NTT デロイトトーマツグループ	本社機能一部移転(高崎市) 新オフィス開設(前橋市)
令和5年	アクセンチュア 日本ミシュランタイヤ	新オフィス開設(前橋市) 本社移転(太田市)
令和6年	IHIエアロスペース ジンズHD	本社移転(富岡市) サテライトオフィス(前橋市)
令和7年	SUBARU ツムラ	新完成車工場(BEV)建設着手(大泉町) 新工場追加用地取得(明和町)
令和8年	信越化学工業	新工場竣工(伊勢崎市)

群馬県の魅力あふれる観光資源



■ 「癒やし」へのニーズ、東京への距離感、豊富な地域資源… **群馬を“リトリートの聖地に”**

人気が高い群馬県ブランドの温泉

- 群馬県の温泉は泉質も施設も種類が豊富です
- 全国的にも人気が高く、群馬県の観光の目玉として抜群の集客力を誇り、大きな経済効果をもたらしています

第39回にっぽん温泉100選

総合ランキング（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
1	**草津**	**群馬県**
2	下呂	岐阜県
3	道後	愛媛県
4	別府八湯	大分県
5	登別	北海道
18	**伊香保**	**群馬県**
37	**万座**	**群馬県**
41	**四万**	**群馬県**
54	**みなかみ18湯**	**群馬県**

出典：（株）観光経済新聞社


草津温泉

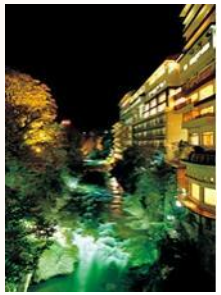

伊香保温泉

みんなで選ぶ 第16回温泉大賞

温泉番付 東（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
1 横綱	**草津**	**群馬県**
2 大関	箱根	神奈川県
3 関脇	鬼怒川	栃木
6 前頭	伊香保	群馬県
前頭	万座	群馬県
前頭	四万	群馬県

出典：BIGLOBEによるサイト上でのWebアンケート調査（期間は2024年12月24日～ 2025年2月13日）


水上温泉



群馬県の自然

- 群馬県は山林が県土の約3分の2を占め、豊かな自然にあふれています
- 県内では川、滝、湖沼、湧水など、さまざまな水の形に出会うことができます。山々は古く『万葉集』にも詠みこまれ、深田久弥著の『日本百名山』では県内から11の山が選ばれています
- また、日本を代表する美しい風景と貴重な生態系を有する尾瀬は、全域が国立公園の特別地域であり、その核心部は特別保護地区として、国の特別天然記念物に指定されています


尾瀬


赤城山


わたらせ渓谷鉄道


妙義山

群馬県の歴史遺産


富岡製糸場

富岡製糸場は、明治5（1872）年に日本初の官営器械製糸工場として設立されました。平成26年に、世界遺産に登録されるとともに、国宝にもなりました


天神山古墳

古墳時代、ヤマト政権の東国支配の拠点として繁栄していた上毛野。群馬県には1万基以上の古墳があるといわれており、古墳の数は全国で有数。太田市「天神山古墳」は、全長210mで、東日本で最大の前方後円墳



Section 2.

2040年の群馬県の目指す姿を描いた「新・群馬県総合計画」

- 新・群馬県総合計画は県政を運営するための基本方針となるものです。
- 県総合計画は2040年の目指す姿を描いた「ビジョン」と、これを踏まえて、2030年までに重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「基本計画」の二段階で策定しています

GVISION2040
新・群馬県総合計画

［ポータルサイト］

新・群馬県総合計画

GVISION2040 新・群馬県総合計画



2040年のビジョン

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、
自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会

実現へのロードマップ　2040年のビジョンから逆算して、いま、何を目指すべきか?

A 日本最先端クラスのデジタル県へ　2023年までの重点政策

- 2023年度末までに日本最先端クラスのデジタル県となることを目指し、DX体制を整備し、ぐんまDX加速化プログラムを策定して、全庁をあげて、DXを推進してきました。

DX推進実績	自立的なDXの流れを生み出す	群馬モデルの創出	外部評価
	DX加速化プログラム 92%達成	15件	G7・デジ田会議開催 Digi田甲子園優勝 日本DX大賞受賞

日本最先端クラスのデジタル県を **実 現**

B 県民の命に関わる安全確保　2025年までの重点政策

- 気候変動の影響により、激甚化、多発化する自然災害
- **県民の命に関わる安全確保の体制を万全に**整えます

目立つ首都圏の脆弱性
災害リスクの集中

対照的に安定した群馬
首都機能バックアップ拠点

被害（少）
被害（多）

順位	都道府県	罹災世帯数
1	群馬県	459
2	東京都	2,298
3	神奈川県	3,028
4	埼玉県	5,803
5	栃木県	7,310
6	千葉県	8,658
7	茨城県	8,718

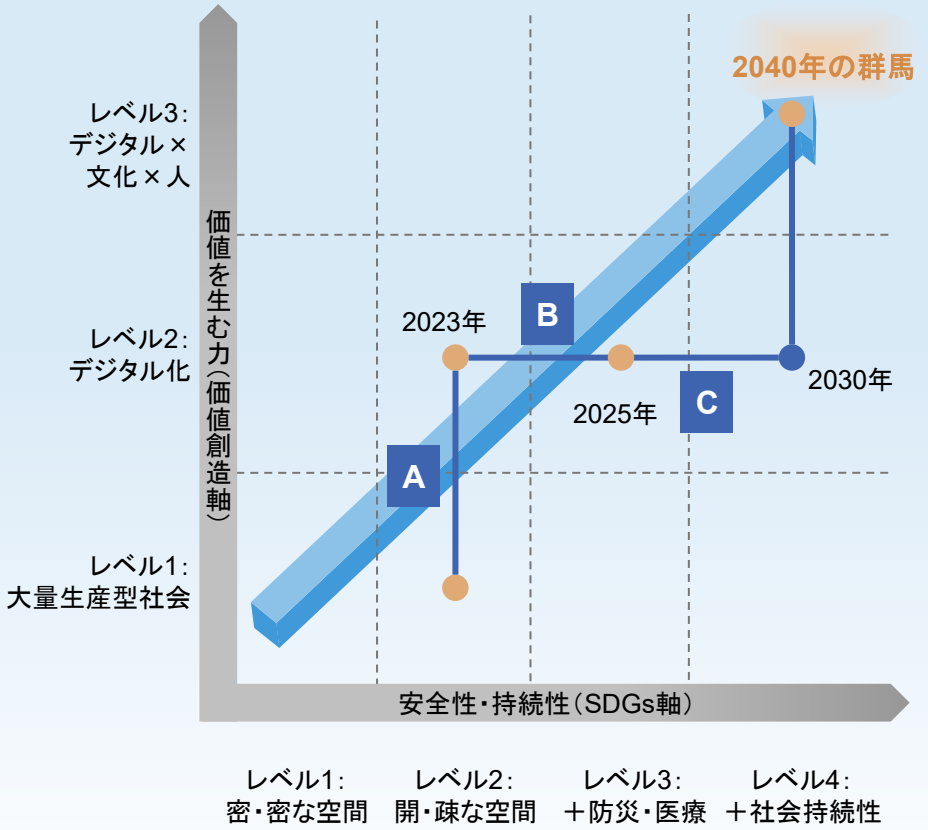
出典：消防白書（消防庁）H27～R6

罹災世帯の少なさ
関東1位
（過去10年間）

地震の少なさ
関東で最小
（震度4以上）

C 持続可能な自立分散型の地域社会確立　2030年までの重点政策

- **長期持続性**の3つの柱（県民総活躍・地域経済循環・官民共創）**を確立**
- 国連がターゲットとする2030年には、県内SDGsの完了を宣言します



足下の取り組みの事例



① ぐんま5つのゼロ宣言

持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、2050年に向けて、以下の5つの「ゼロ」実現を目指す

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者	「ゼロ」
宣言2	温室効果ガス排出量	「ゼロ」
宣言3	災害時の停電	「ゼロ」
宣言4	プラスチックごみ	「ゼロ」
宣言5	食品ロス	「ゼロ」

② 群馬県多文化共生・共創推進条例

「魅力あふれる、持続して発展する群馬県」、「国籍や民族等にかかわらず誰もが幸福を感じることのできる社会」の実現を目指し、多文化共生・共創社会の形成の推進についての基本理念を定めた条例を制定

③ 群馬県カスタマーハラスメント防止条例

カスタマーハラスメントの禁止、県・顧客等・事業者・就業者の責務等を規定
カスタマーハラスメントを社会全体で防止し、より良い就業環境と顧客サービス向上の実現を目指す
※2025.4.1に東京都・北海道と並び全国最速施行

④ 群馬県インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例

誰もがインターネットの恩恵を享受できる、安全で安心な社会の実現を目指し、インターネット上の誹謗中傷等により被害を受けた方に寄り添い、被害者の視点に立った支援を行うとともに、県民が正しくインターネットを活用する知識と能力を身に着けるための、県の責務と県民の役割を明示

⑤ 県庁32階動画・放送スタジオ tsulunos（ツルノス）



- 動画配信により、県民サービスの向上を図るとともに、県内外へ向け群馬県の魅力をPRする
- 職員が動画の「企画」「撮影」「編集」に携わり、ローコスト・タイムリーに情報を発信
  ＜tsulunosポータルサイト＞
  https://tsulunos.jp/

⑥ 県庁32階官民共創スペース NETSUGEN（ネツゲン）



- 群馬県庁32階の官民共創スペースであり、コワーキングスペース・イベントスペースを有する
- 多くの人や企業がつながり、新たなビジネスの創出や地域課題の解決に向けた官民共創を促進
- 官民共創コミュニティ拠点としての機能強化を目的に、群馬県庁31階に拡張予定

⑦ デジタルクリエイティブ人材育成拠点 tsukurun、TUMO Gunma



tsukurun（ツクルン）

- 小中高生が、最先端のデジタル機材やソフトウェアで創作活動できる全国初の施設として、前橋駅北口に設置。桐生市等にサテライト拠点も展開

TUMO Gunma（ツーモ グンマ）

- 国際的に評価の高い人材育成施設「TUMOセンター」のプログラムをアジアで初めて導入。Gメッセ群馬に2025年7月開所

⑧ Gunma Flower Park+ リニューアルオープン



- 2025年10月、「ENJOY！花とあそぶ」をコンセプトに、五感を通して花や自然を楽しんでもらう体験型施設にリニューアル
- 四季折々の花と緑を楽しめるほか、群馬県産の食材を使用したランチ・ティータイム、季節ごとのイベントやアクティビティなど、子どもから大人まで楽しめる施設



Section 3.

群馬県の環境問題の解決に向けた取り組み

- グリーンイノベーションをはじめとした環境問題の解決に繋がる事業に利用するための県債として、群馬県として「グリーンボンド」を発行しています



ぐんまネイチャーポジティブ戦略（2026-2030）

2030年までに自然の損失を止め、回復軌道に乗せるという国際目標「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、群馬県では「ぐんまネイチャーポジティブ戦略（2026-2030）」を策定し、「生物多様性保全と社会経済活動が両立する社会の実現」を目指します。

環境問題の解決へ向けた取組方針



令和1年度

全国初

■ **「ぐんま5つのゼロ宣言」**

⇒ 持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、2050年に向けて、以下の5つの「ゼロ」実現を目指す

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者 「ゼロ」	「災害に強い県土づくり」に向け、ソフト・ハードの両面から取組を徹底など
宣言2	温室効果ガス排出量 「ゼロ」	再生可能エネルギーのフル活用、エネルギーの自立・分散化（地産地消）の推進など
宣言3	災害時の停電 「ゼロ」	「ぐんま再生可能エネルギープロジェクト」の推進など
宣言4	プラスチックごみ 「ゼロ」	プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源循環の構築　など
宣言5	食品ロス 「ゼロ」	食品ロス削減「MOTTAINAI運動」の展開、フードバンク活動、子ども食堂の支援　など

令和3年度

■ **群馬県環境基本計画2021-2030**

⇒ 2040年に向けた群馬県の環境の将来像を「豊かで持続的に発展する環境県ぐんま」と定め、その実現に向けて施策分野を以下の4つに分類し、事業を展開

- Ⅰ 地球温暖化対策の推進
- Ⅱ 持続可能な循環型社会づくり
- Ⅲ 自然との共生と森林（もり）づくり
- Ⅳ 安全・安心で快適な生活環境づくり

令和3年度

■ **「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例の制定**

⇒ 「ぐんま5つのゼロ宣言」を実現するため県・事業者・県民等の責務を明らかにするとともに、気候変動対策等に関し必要な事項を定めた条例を制定



令和6年度

■ **グリーンイノベーション群馬戦略2035の策定**

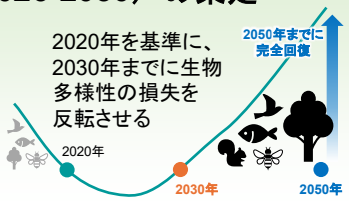
⇒ 県内への再生可能エネルギー導入や産業分野でのグリーンイノベーション創出を促進するため、民間投資を呼び込む観点から再エネ比率80%以上などの長期的な目標や2035年までの戦略を策定



令和7年度

■ **ぐんまネイチャーポジティブ戦略（2026-2030）の策定**

⇒ 2030年までに自然の損失を止め、回復軌道に乗せる国際目標「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、経済活動と自然保全の両立を目指した「ぐんまネイチャーポジティブ戦略（2026-2030）」を策定



■ **群馬県環境基本計画2021-2030の改定**

⇒ 「ネット・ゼロ」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」に施策横断的に取り組むことで、群馬県が目指す2040年の環境の将来像「豊かで持続的に発展する環境県ぐんま」の実現を目指す

群馬県グリーンボンドの発行



■ 「ぐんま5つのゼロ宣言実現条例」に基づいて、環境と経済の好循環の創出に向けた取組を進めるため、令和5年度からグリーンボンドを発行しています

発行概要	令和６年度	令和７年度	令和８年度
名称	(1)10年・グリーンボンド第2回 (2)5年・グリーンボンド第1回	(1)10年・グリーンボンド第3回 (2)5年・グリーンボンド第2回	(1)10年・グリーンボンド第4回 (2)5年・グリーンボンド第3回
年限・発行額	(1)10年満期一括債／100億円 (2) 5年満期一括債／ 50億円	(1)10年満期一括債／100億円 (2) 5年満期一括債／ 50億円	(1)10年満期一括債／100億円 (2) 5年満期一括債／ 50億円
各公債の金額	1,000万円	1,000万円	1,000万円
購入対象	法人投資家向け（事業会社、財団・社団法人、学校法人、医療法人・社会福祉法人等も含む）		
発行利率	(1)1.130% (2)0.633%	(1)1.617% (2)1.144%	(1)3.048% (2)2.148%
発行日（条件決定日）	令和6年7月17日 （令和6年7月5日）	令和7年7月15日 （令和7年7月4日）	令和8年7月17日 （令和8年7月8日）

投資表明

過去３年間の純件数

393件

（うち県内296件）

	県内	県外
中央投資家	-	14
地銀	2	10
系統下部（信金・信組・農協等）	21	21
地方公的（地方公共団体等）	40	18
諸法人	233	34

これまでの充当事業（地域別）　※一例



- 令和5年度以降のグリーンボンドの発行で、脱炭素社会の実現や気候変動に適応するための様々な事業を行っています
- 「ぐんま5つのゼロ宣言」実現をはじめ、環境問題の解決に向けて、引き続き県内全域で取組みを進めて参ります

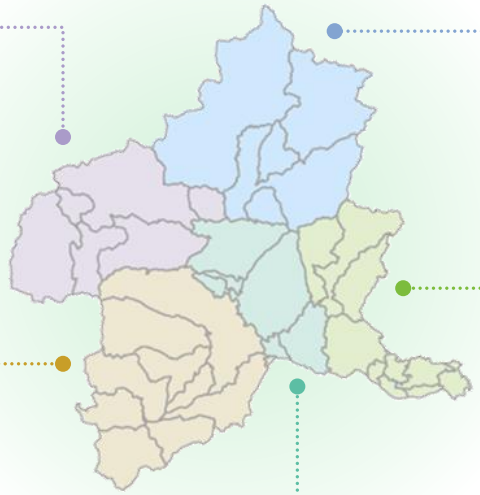
吾妻地域

林道整備

- 吾嬬山線（東吾妻町大字松谷）
- 木材の生産・流通の効率化と森林の適切な管理を進めるため、林業の生産基盤となる林道を整備しました。







利根沼田地域

尾瀬国立公園の環境整備

- 尾瀬国立公園（片品村）
- 公園内に設置されている老朽化した木道等を更新しました。



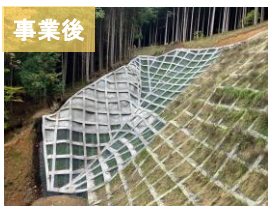


西部地域

土砂災害防止施設の整備（治山事業）

- 山腹崩壊防止（神流町小平）
- 豪雨等による被災の危険性が高い地域の斜面を安定させ、植生を回復するために山腹工を実施しました。





中部地域

陸上及び水生生物の多様性の保全

- 河川内緩衝帯整備（前橋市粕川町）
- 野生動物の侵入防止、除草を目的として、河川内の伐木、刈払を実施しました。





東部地域

気候変動に適応するための水害対策

- 休泊川護岸工（大泉町北小泉）
- 水害による浸水被害の軽減を図るため、護岸整備や河道掘削を実施し、河道断面の拡幅を進めました。





資金充当状況・環境改善効果に係るレポーティング（R7発行分）



- グリーンボンドで調達した資金は、脱炭素社会の実現や気候変動に適応するための以下の事業に150億円充当しました
- 引き続き「ぐんま5つのゼロ宣言」実現をはじめ、環境問題の解決に向けて取り組んで参ります

資金使途・環境改善効果等の一覧

事業区分	対象事業	充当金額（百万円）	効果／実施内容
エネルギー効率	県有施設等の省エネ化	1,875	■ 整備灯器数（信号）：車両用灯器 2,171灯 歩行者用灯器 1,700灯 ■ 整備施設数（照明LED）：13施設 ■ 整備施設数（空調更新）：15施設 ■ 推定CO_2排出削減量：510.4t-CO_2（信号機LED化） 184.3t-CO_2（照明LED化） 18.1t-CO_2（空調更新）
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	林道整備	267	■ 整備箇所数：14箇所 ■ 整備延長：1.6km
	尾瀬国立公園等の環境整備	18	■ 整備箇所数：1箇所
陸上及び水生生物の多様性の保全	鳥獣被害対策	206	■ 整備箇所数：12箇所
気候変動への適応	土砂災害防止施設（砂防、治山等）の整備	6,470	■ 整備箇所数：151件（治山）、166箇所（砂防） ■ 防災受益戸数：488戸（治山）、1,492戸（砂防）
	河川改修や浸水対策、ダムの適正管理、ため池の整備	5,535	■ 整備箇所数：14河川 ：6箇所（ため池）
	無電柱化推進	629	■ 整備箇所数：15箇所 ■ 整備延長：21.9km

Section 4.

財政状況と行政改革の取り組み

- 昭和32年度以降、69年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度をピークに減少傾向
- 新たな行政施策にしっかりと対応できる体制をつくるため、行政改革を推進



草津温泉

自噴する温泉としては、日本で一番の湧出量を誇ります。
街の中心にある湯畑は草津のシンボルとなっています

令和8年度群馬県当初予算



難局突破＆ 先駆的未来投資予算

重点施策

1. 直面する課題への対応・当面のリスクへの備え
2. 子育て・教育・医療・福祉の充実
3. 新たな富の創出に向けた未来への投資
4. 県民幸福度向上のための取組
5. 財政の健全性の確保

特徴的な施策

賃上げ支援、米国関税対策

- ぐんま賃上げ促進支援金
- （R8当初+2月補正） 14.7億円
- 制度融資【中小企業振興資金特別会計】 1,352.4億円

物価高騰対策

- 野菜花き生産力強化 2.6億円
- 交通運輸事業者物価高騰対策 4.5億円

クマ対策

- 人身被害防止対策 0.7億円
  「ゾーニング管理」の導入、緊急銃猟体制整備の支援等
- 捕獲の担い手育成・確保 0.4億円
  民間事業者と連携した「捕獲体制モデル」の構築、ガバメントハンター設置等



その他の直面するリスク対策

- 水道事業経営基盤強化促進補助
  事業統合や共同化・DX化、老朽化対策・耐震化を支援 2.0億円

子育て支援の充実

- いわゆる教育無償化
  高校授業料無償化、学校給食費の抜本的な負担軽減 153.5億円
- 子ども医療費等補助
  高校卒業までの医療費や母子家庭等の医療費を無料化 51.6億円

教育の充実

- 県立高校の魅力化
  県立高校魅力向上、次代を担う職業人材育成の学びの充実 3.6億円



医療提供体制の充実

- 医師確保・看護職確保対策 11.6億円

福祉の充実

- 介護テクノロジー定着支援 3.7億円

デジタル・クリエイティブ産業のエコシステム構築

- デジタルクリエイティブ人材の育成
  tsukurun、TUMO Gunmaの運営、デジタルクリエイティブスクール構想　など 6.1億円



農林業の活性化

- ぐんまゼロ宣言住宅促進
  県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅の普及促進 1.0億円
- 有機農業の推進 1.8億円

新産業の創出

- 全県リビングラボ推進 3.5億円

リトリートの聖地

- リトリート推進 3.6億円

その他の新たな富の創出

- ぐんまちゃんブランド化 4.8億円

レジリエンスの強化

- 災害レジリエンスNo.1の実現 291.7億円



県民の安全・安心の確保

- 交通安全施設整備
  信号機の新設・機能付加、信号灯器のLED化、横断歩道の塗り替え　等 25.2億円

公共交通の利便性向上・維持確保

- MaaS社会実装・公共交通支援 9.6億円

芸術・文化推進

- 温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進 1.1億円

スポーツ推進

- 国民スポーツ大会開催準備関係 22.0億円

基金残高の確保



県債発行額の抑制



県債残高の縮減



令和8年度一般会計当初予算（歳入）



- 県税は、賃金や物価上昇などに伴い、個人県民税や地方消費税の伸びが見込まれることから、+20億円の増加を見込む
- 好調な国税収入を背景に社会保障関係費の増や物価高騰に対応するため、交付税は+156億円の増加を見込む
- 県債は、大規模建設事業費の減等により▲11億円の減少

区分		R8年度 当初予算額（億円）	R7年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
県税		2,800	2,780	100.7
地方消費税清算金		1,137	1,075	105.8
地方譲与税		462	413	111.9
地方特例交付金		113	14	807.1
地方交付税		1,580	1,424	111.0
国庫支出金		971	925	105.0
県債		462	473	97.6
	臨時財政対策債	-	-	－
	その他の県債	462	473	97.6
財政調整基金繰入金		419	442	94.8
その他		542	532	101.8
合計		8,486	8,078	105.1
内訳	自主財源	4,892	4,821	101.5
	依存財源	3,594	3,257	110.3

※：臨時財政対策債は、地方交付税の不足を補うものとして国から地方団体に発行額が割り当てられ、償還費は後年度の地方交付税に加算される地方債（借入）で、実質的な地方交付税とされているものです
※：依存財源は地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金及び県債です
※：自主財源は依存財源以外の財源です

令和8年度一般会計当初予算（歳出・性質別）

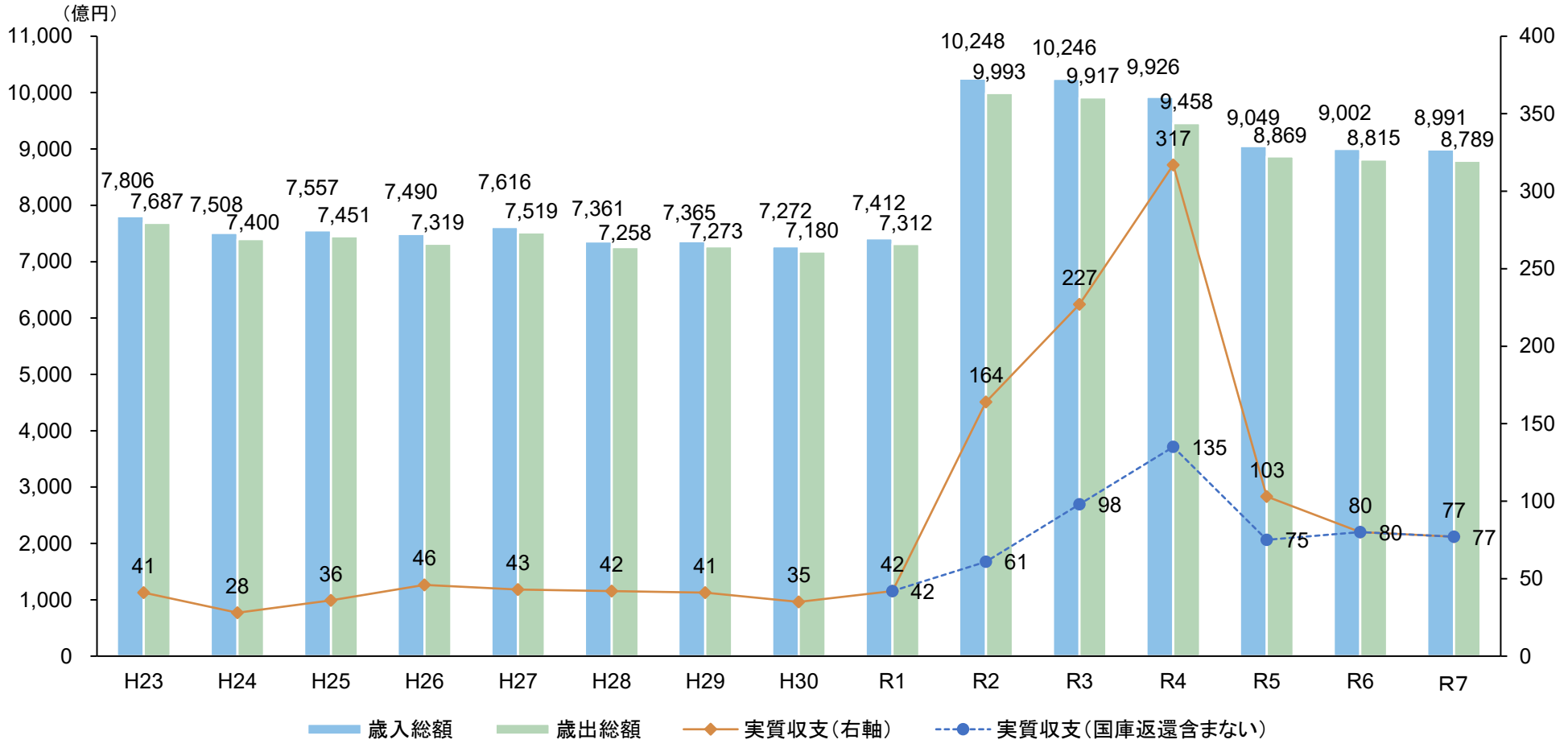


- 令和8年度当初予算案の規模は、前年度対比5.1%の増　※制度融資を特別会計に移管した平成20年度以降では最大規模
- 社会保障関係費は、高齢化の進展などにより、引き続き増加
- 投資的経費は、県立赤城公園活性化整備や近代美術館LED化などの大規模建設事業の完了等により▲3億円の減少

区分	R8年度 当初予算額（億円）	R7年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
義務的経費	3,714	3,528	105.3
人件費	2,322	2,194	105.8
退職手当	202	169	119.9
退職手当除き	2,120	2,026	104.7
扶助費	411	377	108.9
公債費	981	956	102.5
投資的経費	1,038	1,041	99.7
補助公共事業	584	574	101.8
単独公共事業	220	215	102.3
その他の建設事業	234	252	92.7
補助費等	2,938	2,798	105.0
その他	796	711	112.0
合計	8,486	8,078	105.1
うち社会保障関係費	1,292	1,226	105.4

普通会計の決算収支

- 昭和32年度以降、69年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策等により、歳入歳出ともに大幅に増加
- 令和7年度の実質収支は77億円の黒字

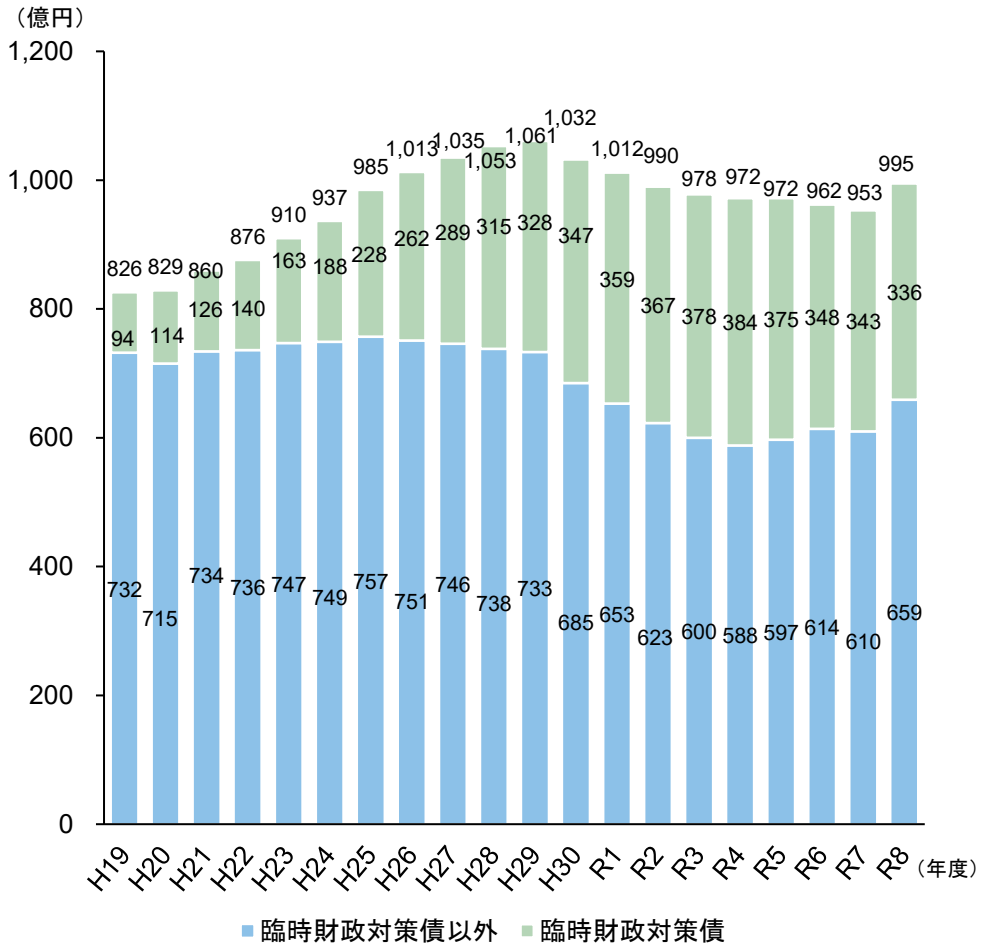


公債費及び投資的経費の推移



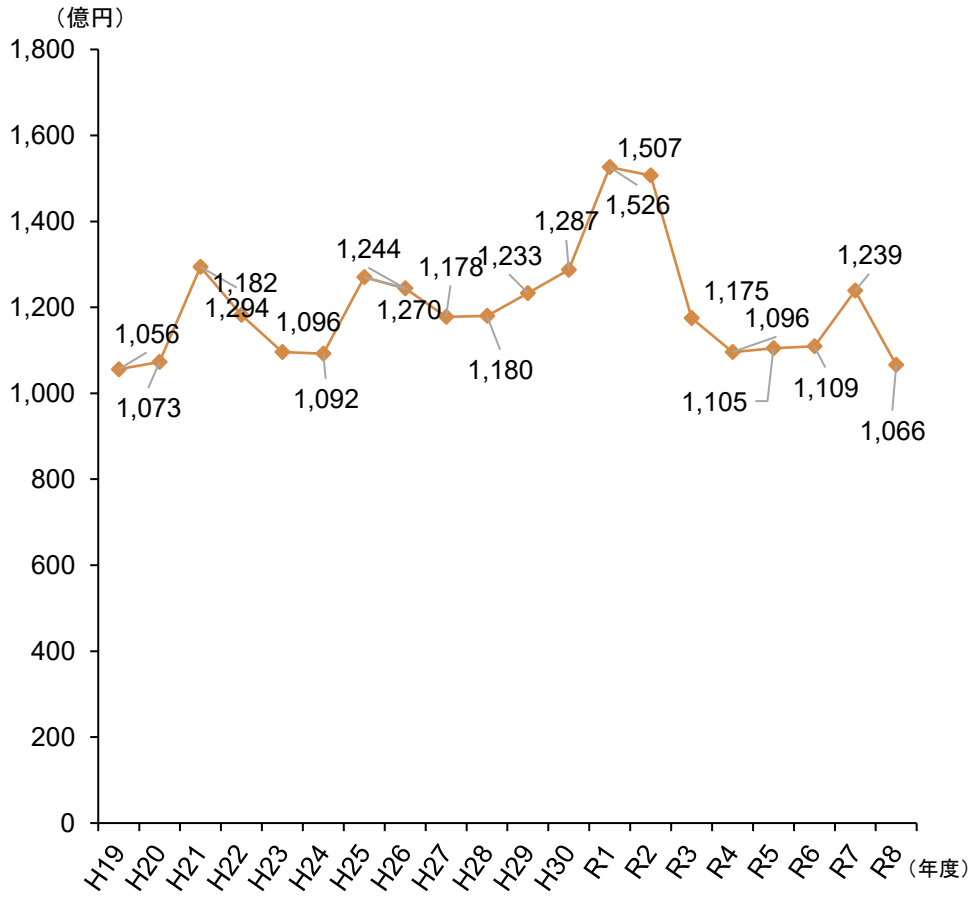
公債費

■ 臨時財政対策債の償還費が増加する中、償還年限を多様化するなど、戦略的な公債管理を行い、公債費の抑制に向けた取組を実施



投資的経費

■ 防災・減災対策の実施や令和元年東日本台風に伴う災害復旧事業などにより令和元年度、令和2年度は一時的に増加したものの、令和3年度以降は、公共事業等を計画的に実施することで減少傾向を維持



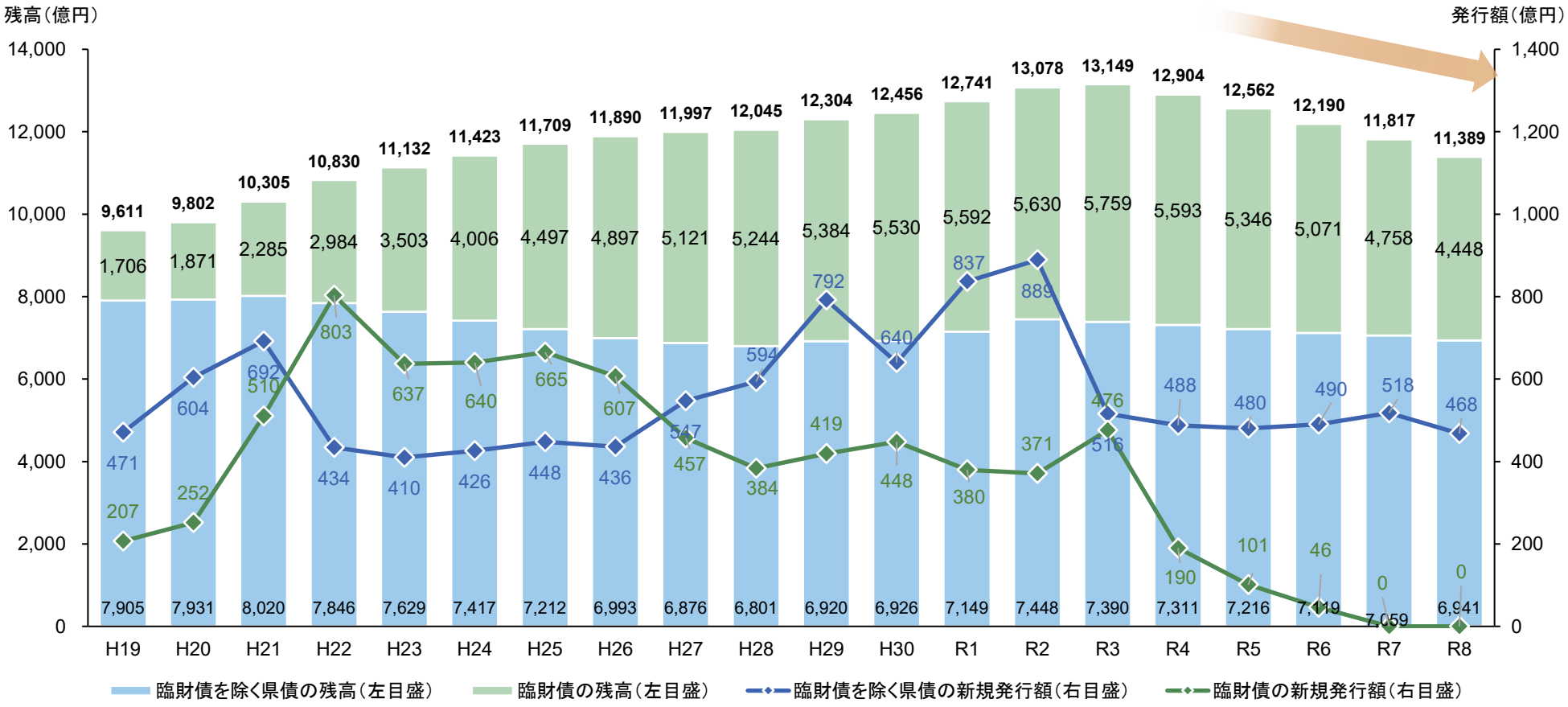
※ R7年度まで決算ベース、R8年度は9月補正後

県債新規発行額と残高の推移



- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債残高は増加してきた
- 令和8年度は、臨時財政対策債の発行がなく、全体の県債残高は令和4年度から5年連続で減少する見込み

普通会計ベース



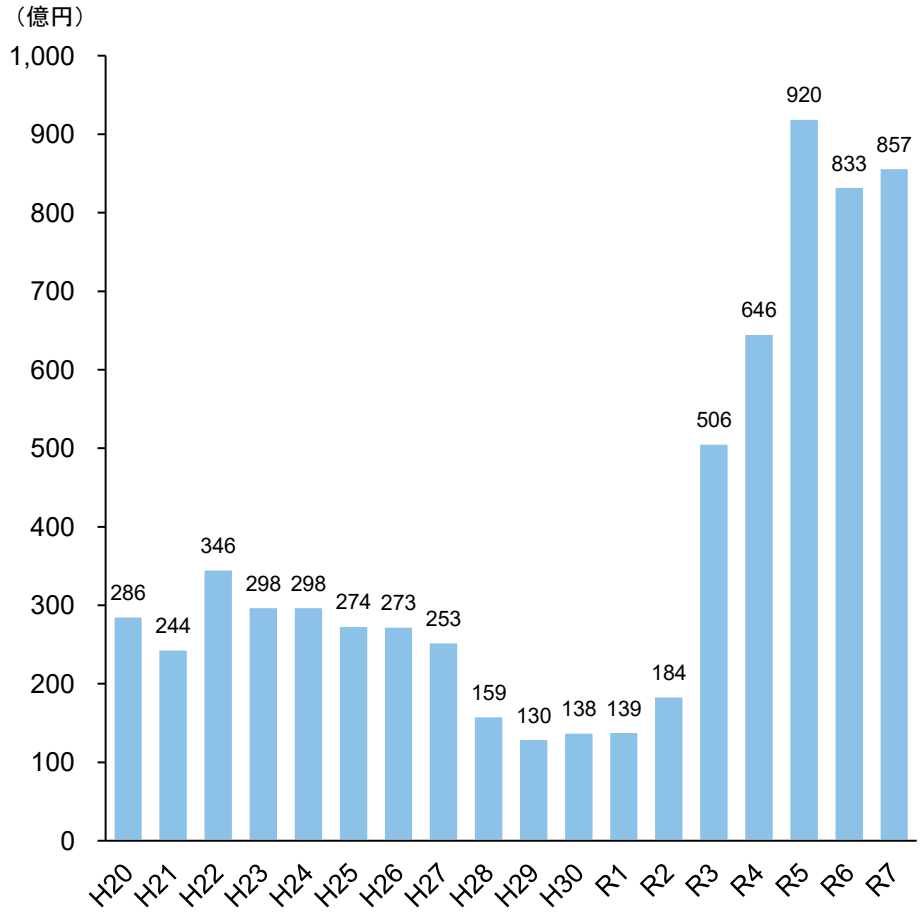
※ R7年度まで決算ベース、R8年度は9月補正後

群馬県の積立基金及び減債基金への積立て



群馬県の積立基金

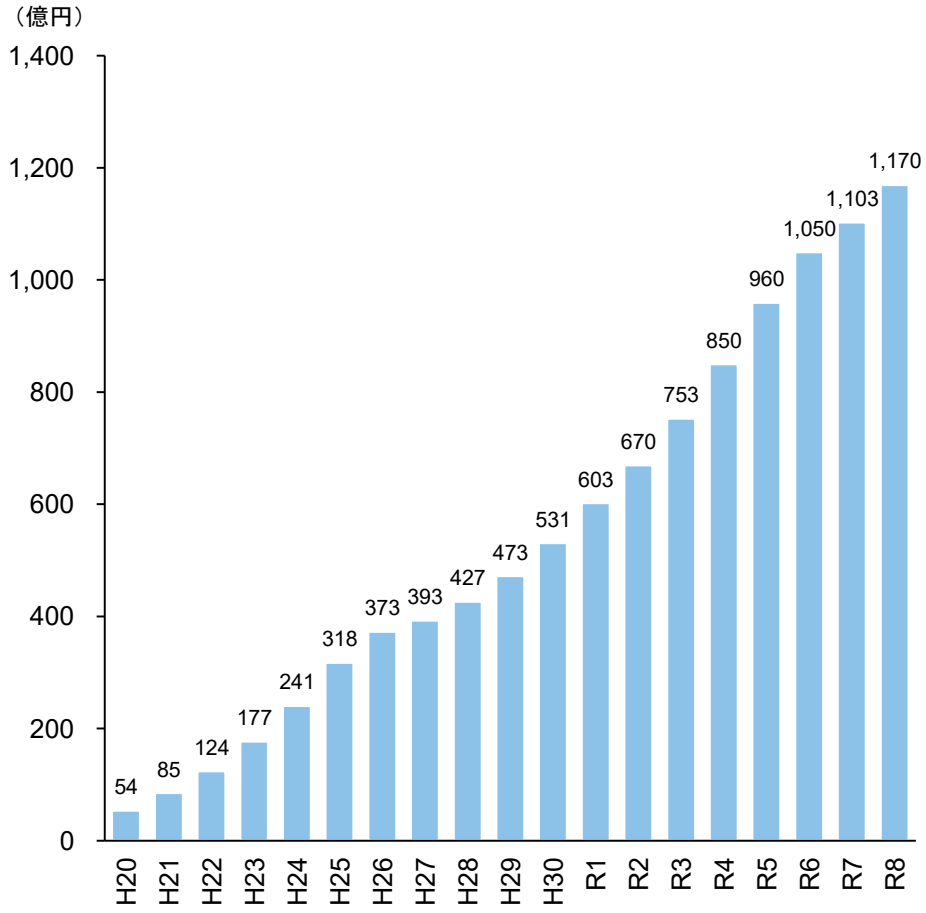
- 財政調整基金の令和7年度末残高は、前年度末に比べ、24億円増の857億円となった



※ 決算ベース

減債基金残高（年度末）の推移 ※満期一括償還分

- 県債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するため、「満期一括方式」による債券の償還財源について減債基金にルールどおり積立て



※ R7年度まで決算ベース、R8年度は当初予算ベース

公営企業会計の令和7年度決算状況



- 全ての会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリアしている
- 電気事業は、少雨や工事に伴う発電所の停止による販売電力料の減少などにより26億99百万円の純利益となった
- 病院事業は、営業収益が増加したものの、人件費増や物価高騰等による影響により14億3百万円の純損失となった
- 流域下水道事業は、物価高騰に伴い維持管理費などの営業費用は増加したが3億25百万円の純利益となった

（百万円）

区分		電気	工業用水道	水道	団地造成	施設管理	病院	流域下水道	合計
損益計算書	営業収益（A）	10,211	1,690	4,210	4,613	612	26,254	4,395	51,931
	営業費用（B）	7,413	1,691	3,716	3,977	704	33,800	9,597	60,703
	営業損益（C=A-B）	2,798	▲ 1	494	636	▲ 93	▲ 7,546	▲ 5,202	▲ 8,772
	営業外収益（D）	160	331	353	26	4	6,886	5,749	13,509
	営業外費用（E）	234	91	87	26	3	741	222	1,405
	経常損益（F=C+D-E）	2,724	239	760	635	▲ 92	▲ 1,401	324	3,332
	特別利益（G）	0	1	65	6	17	10	0	99
	特別損失（H）	25	0	0	108	0	11	0	145
	純損益（I=F+G-H）	**2,699**	**240**	**825**	**533**	**▲ 75**	**▲ 1,403**	**325**	**3,286**
貸借対照表	資産の部	90,769	19,284	60,991	33,966	8,150	29,727	120,694	363,581
	固定資産	52,396	16,407	44,456	20,853	7,094	22,324	116,665	280,196
	流動資産	38,373	2,877	16,535	13,113	1,056	7,403	4,029	83,385
	負債の部	14,377	9,523	12,578	3,924	1,002	28,704	101,271	171,380
	固定負債	7,063	5,055	3,708	1,214	784	16,992	15,657	50,473
	流動負債	6,297	717	1,942	2,710	218	5,981	3,101	20,966
	繰延収益	1,017	3,751	6,928	0	0	5,731	82,513	99,941
	資本の部	76,392	9,761	48,412	30,042	7,148	1,023	19,423	192,201
	資本金等	63,911	7,334	43,198	28,891	6,052	10,434	9,002	168,820
	剰余金	12,481	2,427	5,215	1,151	1,096	▲ 9,411	10,421	23,381
財政健全化法上の資金不足額（資金収支）		**32,112**	**2,670**	**15,248**	**14,331**	**1,022**	**3,702**	**1,865**	**70,949**



Section 5.

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく各指標は、財政の健全性を維持
- 特に実質公債費比率と将来負担比率は、共に良好な水準を維持しており、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



八ッ場ダム

利根川の治水対策や首都圏の水利用の安定化のため建設されました（令和２年３月完成）。令和３年からは、八ッ場ダムの放流水を利用した発電も行っています。

財政健全化法に基づく財政指標の推移



各指標の算定結果

	R5年度	R6年度	R7年度	早期健全化基準
Ⅰ. 実質赤字比率	**該当なし**（黒字2.23%）	**該当なし**（黒字1.69%）	**該当なし**（黒字1.60%）	**3.75%**
Ⅱ. 連結実質赤字比率	**該当なし**（黒字20.04%）	**該当なし**（黒字19.03%）	**該当なし**（黒字17.12%）	**8.75%**
Ⅲ. 実質公債費比率	**9.3%**	**9.2%**	**8.8%**	**25%**
全国順位	第10位	第9位	第8位	
全国平均	10.1%	10.1%	10.2%	
Ⅳ. 将来負担比率	**133.6%**	**130.0%**	**124.3%**	**400%**
全国順位	第13位	第12位	第10位	
全国平均	148.7%	144.1%	139.2%	

■ 各指標ともに、財政の健全性において良好な水準を維持

実質公債費比率の算定結果

項 目	R5	R6	R7
①県債の元利償還金	988	973	965
②交付税に算入された元利償還金等	610	588	559
③元利償還金等の財源に充てられた特定財源	9	25	44
A分子:①－(②＋③)	**369億円**	**361億円**	**362億円**
④標準財政規模	4593	4705	4814
⑤交付税に算入された元利償還金等(再掲)	610	588	559
B分母:④－⑤	**3,983億円**	**4,117億円**	**4,256億円**
単年度比率A／B	9.26465	8.76244	8.49911
実質公債費比率(3か年平均)		**8.8**	

将来負担額の算定結果

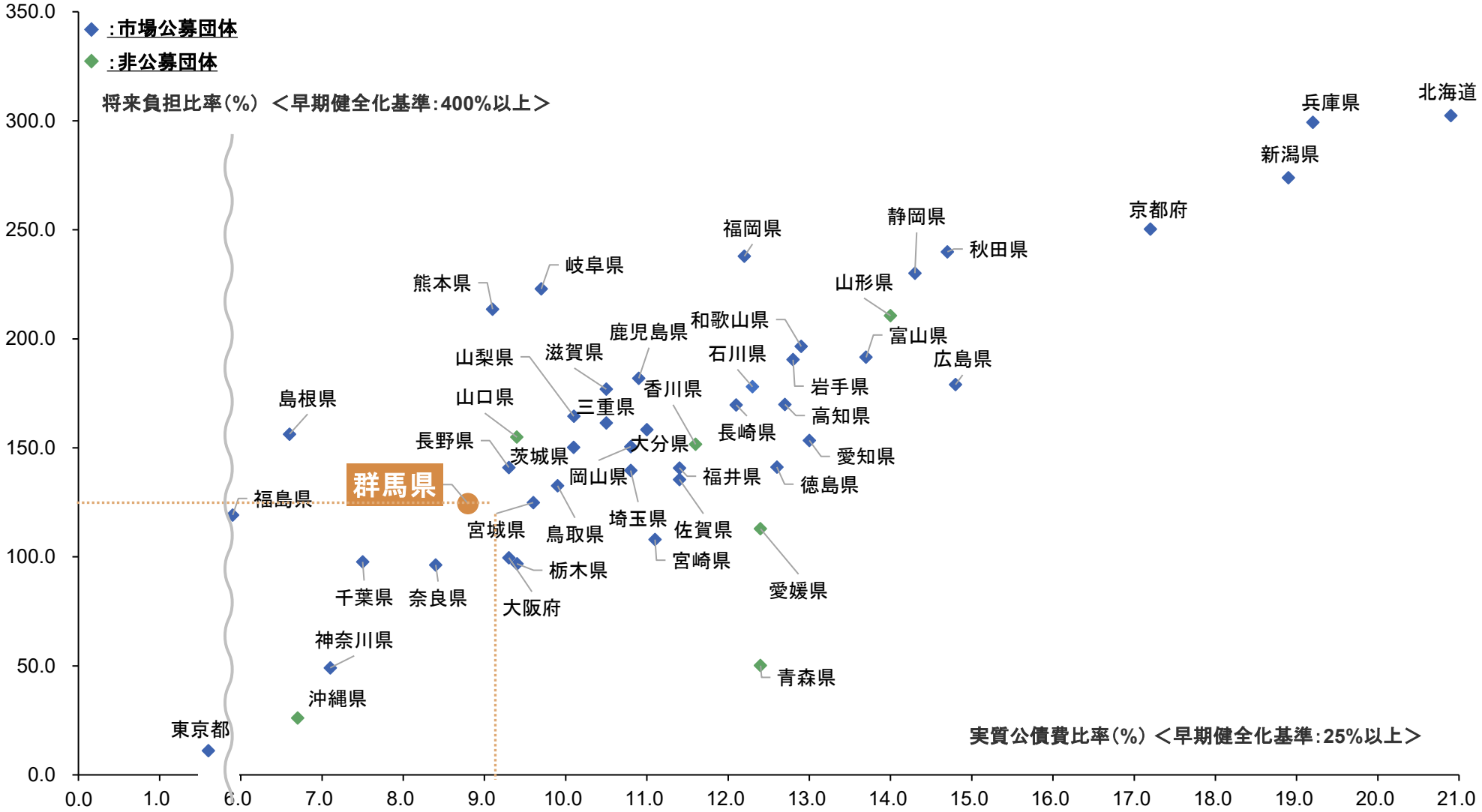
項 目	金額（億円）	算定内容
①地方債の現在高	12,923	満期一括償還分を含む地方債の残高
②債務負担行為に基づく支出予定額	3	土地改良事業負担金等
③公営企業の企業債償還への負担見込	242	流域下水道等
④組合等の借入償還に係る負担見込額	該当なし	
⑤退職手当の支給予定額	1,714	R7年度末に全職員が退職した場合の支給予定額
⑥設立法人の負債等に係る負担見込額	12	
A 将来負担額計(①～⑥の計)	14,894	
B 充当可能基金	2,166	減債基金、財調基金等
C 充当可能特定財源	97	公営住宅使用料等
D 交付税算入見込額	7,341	
分子 A - (B + C + D)	**5,291**	
分母	**4,256**	標準財政規模から交付税算入された元利償還金を控除

※数字の単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

将来負担比率と実質公債費比率（令和7年度決算）



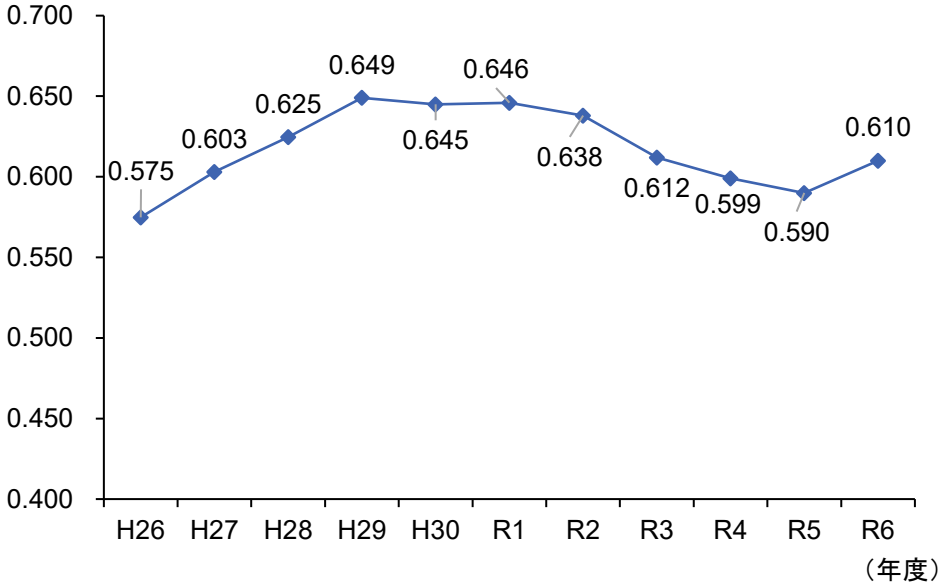
■ 現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



財政指標の推移

財政力指数

■ 財政運営の自主性の大きさを示す指数で、財政運営に必要となる一般財源のうち、自前で調達できる県税がどれくらい確保できるかという割合を理論的に求めたもの



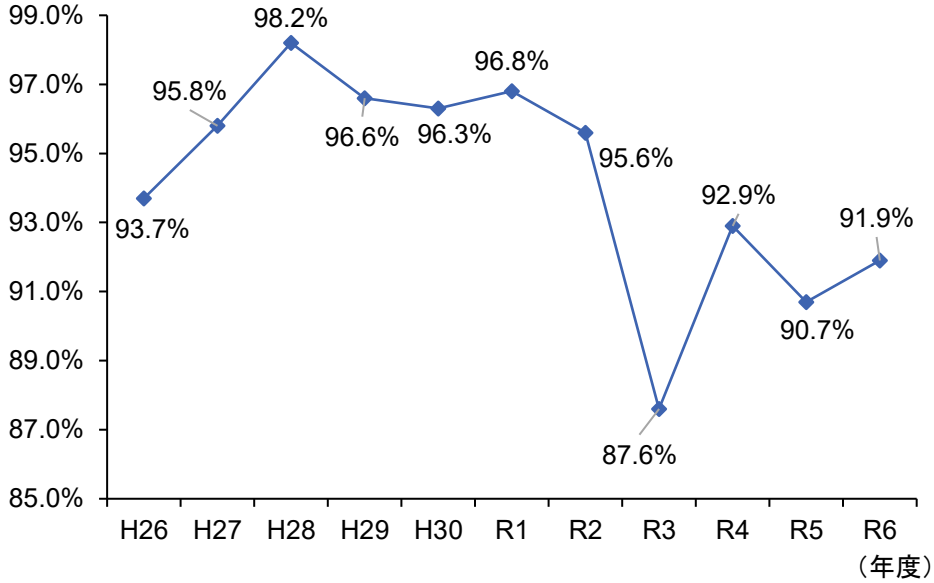
財政力指数

0.610

全国平均 R6：0.512（R5：0.491）

経常収支比率

■ 「財政構造の弾力性」を判断するための指標で、地方税や地方交付税など経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費などの経常的に支出する経費に充当された額の割合



経常収支比率

91.9%

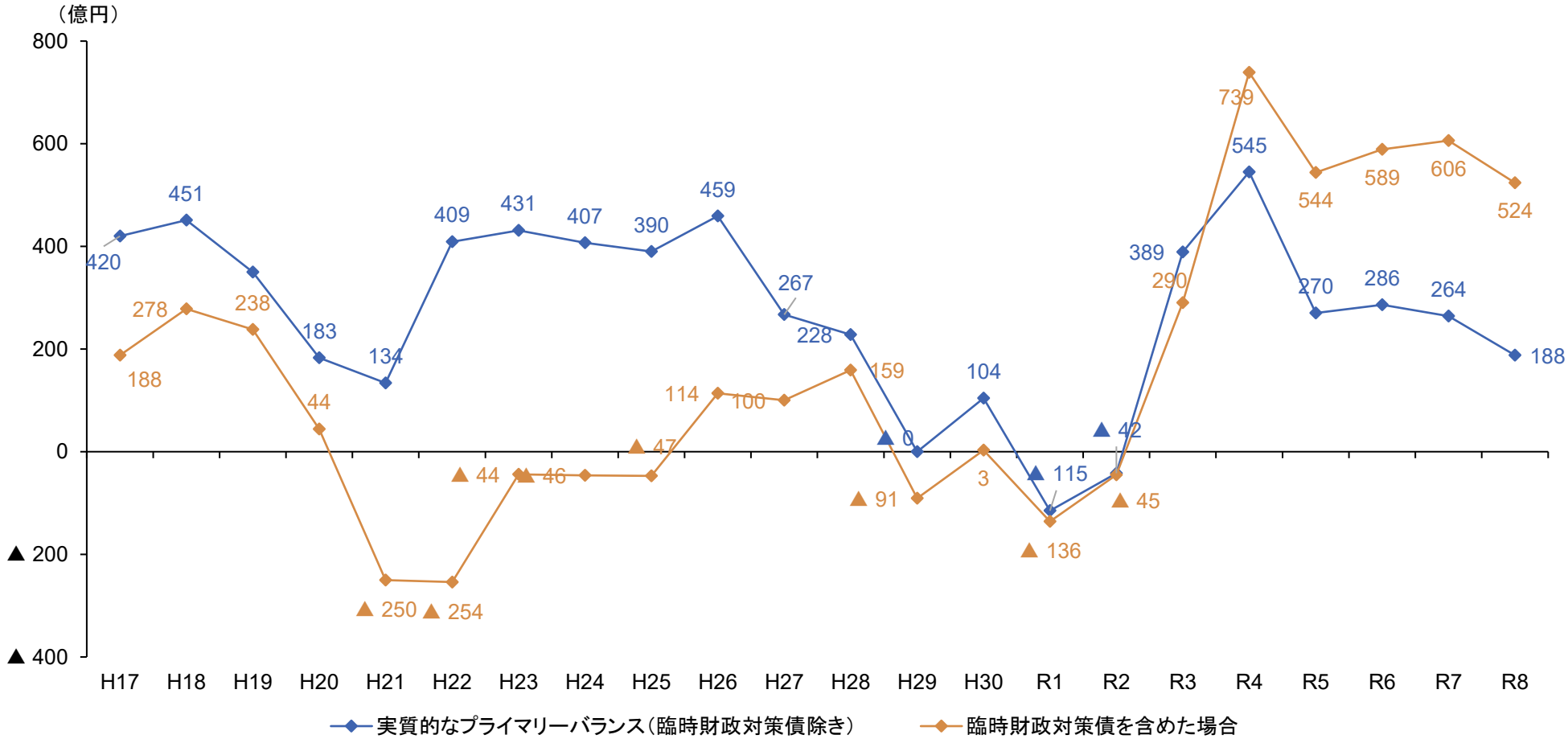
全国平均 R6：92.2%（R5：92.5%）

プライマリーバランスの推移（決算ベース）



■ R元 、R2決算では、実質的なプライマリーバランス（臨時財政対策債除き）は、防災減災対策の集中実施やR元年東日本台風の災害復旧事業などにより、赤字となったが、R3年度以降は県債発行の抑制などにより、黒字で推移

一般会計ベース



※ R7年度まで決算ベース、R8年度は9月補正後

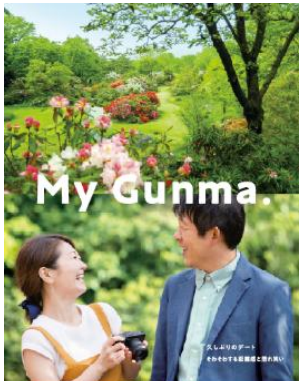
Section 6.

市場公募債発行計画

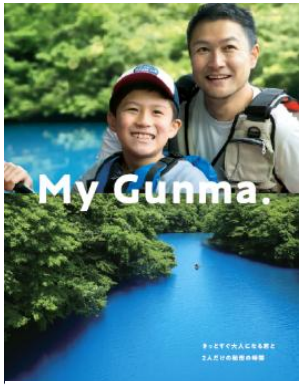
おかえり、本当のわたし。

GUNMA

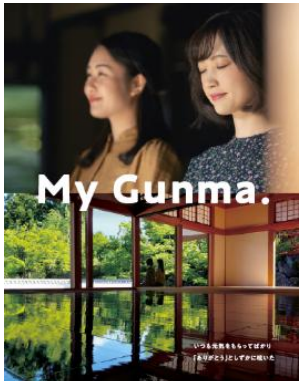
リトリートぐんま



赤城自然園
（渋川市）



四万湖
（中之条町）



宝徳寺
（桐生市）



草津温泉
（草津町）

令和8年度市場公募債発行計画

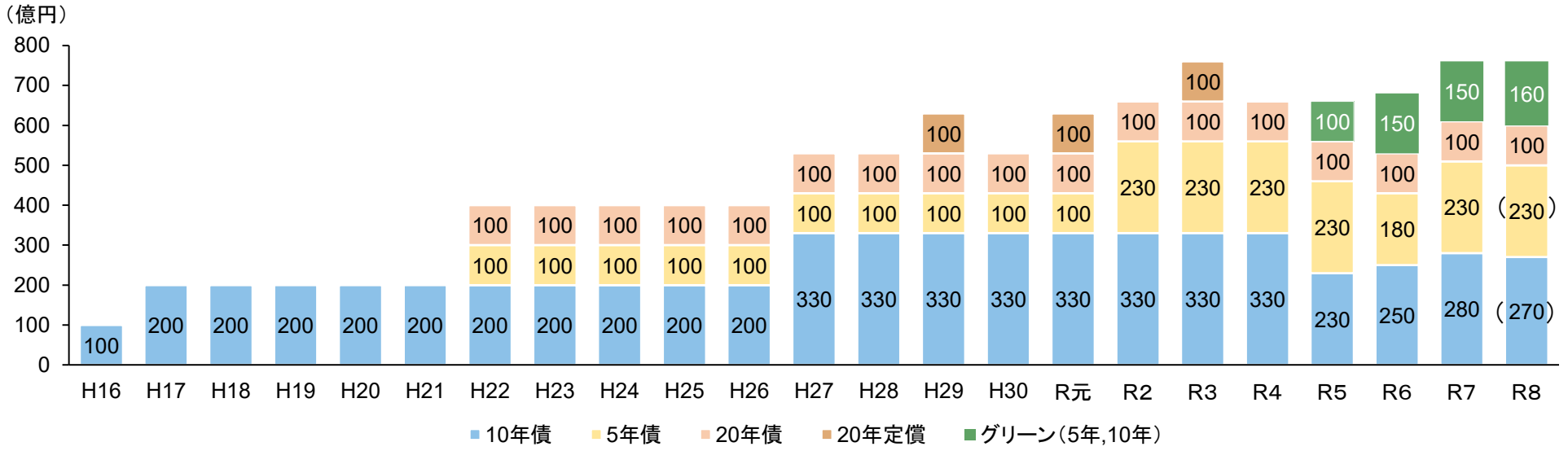


令和8年度市場公募債発行計画

（億円）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債			180					50程度					230程度
10年債			180					90程度					270程度
20年債			100										100
グリーンボンド（5年債）				50									50
グリーンボンド（10年債）				100	10（水害レジリエンス枠）								110
合計			460	150	10			140程度					760程度

市場公募債発行額の推移



お問い合わせ先



本件に関するお問い合わせ先

群馬県総務部財政課県債係

〒 371-8570　群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL	027-226-2096
FAX	027-221-2209
E-mail	marketbond@pref.gunma.lg.jp
HPアドレス	http：//www.pref.gunma.jp/



- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- 本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。